

## 研究構想図

【学校教育目標】	自ら学び	心身を鍛える	感性豊かな生徒の育成
【校訓】	進歩(文)	健康(武)	協力(道)

目指す生徒像

<b>目標をもち 進んで学習する生徒</b>	<b>心身を鍛え 最後までやり抜く生徒</b>	<b>思いやりの心をもち 協力して活動する生徒</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夢に向かって進んで学習に取り組み、努力しよう。</li> <li>○ 基礎的・基本的な学力を身に付けよう。</li> <li>○ 自分の考えを表現して共に学び合い、高め合おう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 苦しさや困難を乗り越え、心と体を鍛えよう。</li> <li>○ 目標をもち、最後まで粘り強くやり抜こう。</li> <li>○ 無言<b>清掃</b>や係活動などに主体的に取り組もう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明るく、心のこもった<b>挨拶</b>を誰にでもしよう。</li> <li>○ ふるさとの自然や人、文化に触れ、誇りをもとう。</li> <li>○ 温かく友だちと関わり、しっかりした<b>返事</b>をしよう。</li> </ul>

【研究主題】	夢に向かい 主体的に学び 互いに高め合う生徒の育成
--------	---------------------------

### 【研究仮説】

基礎・基本の定着のための確かな見取りと、他者との学び合いによる学習の深まりを追究すれば、「夢に向かい 主体的に学び 互いに高め合う生徒の育成」が図られるのではないか。

<b>&lt;研究の重点1&gt;</b>	<b>&lt;研究の重点2&gt;</b>	<b>&lt;その他の実践事項&gt;</b>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>確かな見取りによる基礎・基本の定着</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 少人数指導, TT指導を効果的に活用するなど, 生徒一人一人に対応した指導を充実させる。</li> <li>(2) 各種調査を一体として捉えた授業改善を組織的に進める。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>自ら考え, 表現し伝え合う力の育成</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 主体的・対話的な課題解決学習の充実を図り, 生徒自身の力で答えを導き出す策を講じる。</li> <li>(2) 達成感をもち, 夢や希望をもつことのできる学習活動を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 主体的学習態度の育成と自己有用感の醸成を図るため教科面談を行う。</li> <li>(2) 教科部主体で, YCSを組織的・計画的に進める。</li> <li>(3) キャリア教育の視点で, 異年齢集団や校外の人々との交流の場を充実させる。</li> </ul>

### 【検証計画】

- (1) I～IV期と前・後期末に「実践の重点・具体的施策」に関する評価を行い、授業改善に生かす。
- (2) ① 年2回の「生活・学習自己評価」、期ごとの「家庭学習力自己評価」で生徒の変容を把握するとともに、生徒自身が自己の成長を確かめ、生活改善への意識を高める機会とする。  
② 学習状況調査の分析を行う。質問紙回答は7月のアンケートと照らして分析する。  
③ 年2回の「キャリアアンケート」でキャリア教育における学びの成果と生徒の変容を把握するとともに、生徒自身が「なりたい自分」の姿を見つめ直し、目標設定に生かす機会とする。
- (3) 総合学力調査, 全国学力・学習状況調査, 秋田県学習状況調査, 高校入試を一体として捉えた検証改善を進める。補充学習でも継続的に取り上げ, 生徒自身も学習内容の定着を実感できるようにしていく。